

## 部活動に関するアンケート調査結果

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、今後の部活動の地域連携・地域移行に向けた取組を検討し、方針等を策定するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

#### (2) 調査実施方法

| 調査対象          | 小学生<br>(4～6年生)       | 小学生保護者<br>(全学年)      | 中学生<br>(1・2年生)       | 中学生保護者<br>(1・2年生)    | 教職員<br>(中学校)         |
|---------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 対象人数          | 486人                 | 908世帯                | 328人                 | 328世帯                | 61人                  |
| 調査方法          | WEB方式                |                      |                      |                      |                      |
| 調査期間          | R6.12.25～<br>R7.1.15 | R6.12.25～<br>R7.1.15 | R6.12.25～<br>R7.1.15 | R6.12.25～<br>R7.1.15 | R6.12.25～<br>R7.1.15 |
| 回答状況<br>(回答率) | 459人<br>(94.4%)      | 414世帯<br>(45.6%)     | 281人<br>(85.7%)      | 285世帯<br>(86.9%)     | 56人<br>(91.8%)       |

※保護者世帯数は児童・生徒数で計上

#### (3) 調査結果

##### ①小学生調査(4年生～6年生)

##### Q1. 所属する中学校校区

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 江津中学校(渡津小・郷田小・高角小) | 184 |
| 江東中学校(江津東小)        | 36  |
| 青陵中学校(川波小・津宮小)     | 191 |
| 桜江中学校(桜江小)         | 48  |
| 計                  | 459 |

##### Q2. 学年

|     |     |
|-----|-----|
| 4年生 | 149 |
| 5年生 | 162 |
| 6年生 | 148 |
| 計   | 459 |

##### Q3. 性別

|      |     |
|------|-----|
| 男    | 230 |
| 女    | 223 |
| 選ばない | 6   |
| 計    | 459 |

##### Q4. 1週間に1日以上取り組んでいるスポーツや文化芸術活動

|     |     |
|-----|-----|
| はい  | 321 |
| いいえ | 138 |
| 計   | 459 |

児童の約70%が何らかの活動に参加しています。

## Q 5. 活動している種目（複数回答可）

|              |    |
|--------------|----|
| 水泳           | 74 |
| バレーボール       | 62 |
| 書道           | 49 |
| ピアノ          | 37 |
| サッカー         | 34 |
| バドミントン       | 33 |
| 軟式野球         | 30 |
| ハンドボール       | 20 |
| ダンス          | 19 |
| バスケットボール     | 17 |
| 陸上競技         | 15 |
| ソフトテニス、柔道    | 12 |
| 卓球           | 8  |
| カヌー・ボート、ラグビー | 6  |
| ドッジボール       | 5  |
| 剣道、吹奏楽       | 3  |
| 硬式テニス、美術     | 2  |
| 硬式野球、バレエ     | 1  |
| その他          | 33 |

運動系は、水泳が最も多くなっていますが、軟式野球などのスポ少の種目にも多く参加しています。一部では市外のスポーツクラブに参加する児童も存在していると思われます。文化芸術系は書道とピアノに多く参加しています。

## Q 6. 中学生になってやってみたい種目

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 決めている              | 208 |
| まだ決めていないが、いくつかある   | 123 |
| まだわからない 考えていない     | 105 |
| 何もやりたくない やりたいものがない | 23  |

約 70%がすでに入部先を決めているか候補がありますが、やりたくない児童も一定数存在します。

## Q 7. 現在考えている種目は中学校の部活動で取り組もうと思っているか

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 中学校の部活動で取り組む                  | 246 |
| 中学校の部活動ではなく、中学校以外の教室やクラブで活動する | 29  |
| まだ決めていない                      | 56  |

## Q 8. 中学校の部活動で取り組む種目

|        |    |
|--------|----|
| 吹奏楽    | 48 |
| バレーボール | 47 |
| 陸上競技   | 41 |
| ソフトテニス | 40 |
| 美術     | 38 |

|          |    |
|----------|----|
| 卓球       | 33 |
| 軟式野球     | 28 |
| バスケットボール | 26 |
| サッカー     | 15 |
| 水泳       | 12 |
| 柔道       | 11 |
| 剣道       | 5  |
| その他      | 17 |

専門的な指導を受けて上手になりたい、良い成績を取りたいという理由が多く、中学校の部活動では難しいと考える児童が一定数存在します。

#### Q 9. 中学校以外で活動すると答えた理由

|                      |    |
|----------------------|----|
| もっと上手になりたいから         | 16 |
| やりたい種目の部活動がない        | 8  |
| 今加入しているクラブ、教室で続けたいから | 3  |
| 大会やコンクールで良い成績をとりたいから | 2  |
| 専門的なことを教えてもらえないから    | 2  |
| その他                  | 3  |

#### Q10. 中学生になったとき、やりたい種目ができるようになるためにはどうなっているとよいと思うか

|                                                |     |
|------------------------------------------------|-----|
| 分からない、考えたことがない                                 | 238 |
| 大会やコンクールで良い成績が取れるようになる                         | 108 |
| 専門的なことを教えてもらえる監督（顧問の先生）やコーチがいる                 | 101 |
| 人数が少なく大会等に出れないことを心配しないで活動できる                   | 66  |
| 違う中学校の生徒と一緒にチームになって大会等に出れるようになる                | 58  |
| 校区外に毎日移動してでもやりたい種目ができるようになる                    | 50  |
| 他校にある自分のやりたい種目の部活動に入って活動できるようになる               | 43  |
| 入学した中学校の生徒だけで活動できるようになる                        | 39  |
| 部活動の時間が短くなったり、休みの日が多くなって、部活動とは違う種目の練習ができるようになる | 38  |
| その他                                            | 4   |

分からない、考えたことがないという意見が最も多いのは当然と思われますが、専門的な指導者のもとで良い成績を収めたいという意見が多くなっています。また、他校との合同チームを許容する意見がある一方、同じ中学だけで活動したいという意見も一定数あり、考え方はばらつきがあります。

## Q11. 自由記述（主なもの）

|   |                                                                                                                                                                                                                  |    |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1 | ○部活動に関する疑問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の種類</li> <li>・練習時間、終了時間、１週間のうちの活動日</li> <li>・未経験の競技でも可能か</li> <li>・途中で辞めることは可能か</li> <li>・自分で楽器を決められるか（吹奏楽）</li> <li>・あってほしい部活動（女子バスケ、男子バレー、水球）</li> </ul> | 27 |
| 2 | ○部活動に望むこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく活動したい</li> <li>・大会で優勝したい、勝ちたい</li> <li>・上手になりたい</li> <li>・頑張りたい</li> </ul>                                                                                  | 10 |
| 3 | ○部活動に消極的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたくない</li> <li>・絶対にやらないといけないのか</li> </ul>                                                                                                                      | 3  |
| 4 | ○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動と地域クラブをどちらも活動してよいか</li> <li>・今やっている部活でないといけないか</li> <li>・ソフトテニスがなくなると聞いた</li> <li>・バドミントンは部活か（桜江小？）</li> <li>・地域移行のスケジュールを教えてほしい（保護者？）</li> </ul>                | 11 |

小学校児童の中学校部活動に対する知識が乏しく、基本的な質問が多くなっています。その中でも、すでに入部する部活動を決めて技術の向上や好成績を求める児童がいる一方で、成績よりも部活動を楽しくやりたいと思う児童も存在します。

## ②小学生保護者調査（１年生～６年生）

## Q 1. 中学校校区

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 江津中学校（渡津小・郷田小・高角小） | 219 |
| 江東中学校（江津東小）        | 42  |
| 青陵中学校（川波小・津宮小）     | 127 |
| 桜江中学校（桜江小）         | 26  |
| 計                  | 414 |

## Q 2. 子どもの学年

|     |     |
|-----|-----|
| １年生 | 53  |
| ２年生 | 36  |
| ３年生 | 56  |
| ４年生 | 64  |
| ５年生 | 101 |
| ６年生 | 104 |
| 計   | 414 |

## Q 3. 子どもの性別

|      |     |
|------|-----|
| 男    | 196 |
| 女    | 207 |
| 選ばない | 11  |
| 計    | 414 |

## Q 4. 子どもが日常的に継続しているスポーツや文化芸術活動があるか

|     |     |
|-----|-----|
| はい  | 278 |
| いいえ | 136 |
| 計   | 414 |

児童の回答と同様に約 7 割弱が何らかの活動に参加しています。

## Q 5. 活動している種目（複数回答可）

|                 |    |
|-----------------|----|
| 水泳              | 84 |
| バレーボール          | 51 |
| ピアノ             | 30 |
| 書道・サッカー         | 28 |
| 軟式野球            | 27 |
| バドミントン          | 20 |
| ハンドボール          | 15 |
| ダンス             | 12 |
| 陸上競技・柔道         | 11 |
| バスケットボール・ソフトテニス | 10 |
| ラグビー            | 8  |
| 卓球              | 4  |
| 剣道              | 3  |
| 硬式野球            | 2  |
| 硬式テニス・スキー・美術    | 1  |
| その他             | 30 |

児童の回答とほぼ同様となっています。

**Ｑ６．子どもが現在活動している教室やクラブ等に参加している理由（３つまで）**

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 子どもがやりたいと希望したから        | 202 |
| 子どもの体力面や精神面の成長が望めるから   | 142 |
| 兄弟姉妹やその他の家族・親族がやっていたから | 68  |
| 様々な体験をさせたいから           | 44  |
| 小学校入学前からやっている競技・種目だから  | 39  |
| 他校の児童と交流できるから          | 39  |
| 近くでやっていたから             | 33  |
| 専門的な指導が受けられるから         | 24  |
| より高いレベルで練習できるから        | 11  |
| 学校のクラブでは活動する日や時間が少ないから | 8   |
| 大会やコンクールなどで良い成績を収めたいから | 4   |
| その他                    | 4   |

**Ｑ７．現在の中学校部活動について、心配や不安に感じること（３つまで）**

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| 子どもがやりたい、やらせたい競技・種目の部活動がないこと | 154 |
| 休日の大会や活動場所への送迎があること          | 144 |
| 人数が少なく、大会等に出場できないかもしれないこと    | 121 |
| 帰宅時の安全や帰宅時間が遅くなること           | 80  |
| 部活動内（同級生・先輩・後輩）の人間関係         | 78  |
| 学業との両立                       | 74  |
| 専門的な指導が受けられないこと              | 61  |
| 特になし                         | 53  |
| 経済的（金銭的）負担が大きい               | 38  |
| 活動日数が多いことや時間が長いこと            | 31  |
| 活動日数が少ないことや時間が短いこと           | 27  |
| 顧問との関係                       | 21  |
| 人数が多く、子どもが大会等に出場できないかもしれないこと | 4   |
| その他                          | 18  |

## Q 8. 現時点での子どもの中学校部活動への参加についての考え

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 校区の中学校の部活動に入部する     | 194 |
| 校区の部活動には入部しない       | 27  |
| 状況によっては校区の部活動に入部しない | 33  |
| 分からない・まだ決めていない      | 160 |

約 15%が校区の部活動に入部しない可能性があります。

## Q 9. 校区の部活動に入部しない理由

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 子どもがやりたい、やらせたい競技・種目の部活動がないこと | 43 |
| 小学校から加入しているクラブ・教室等で活動を続けさせたい | 15 |
| 専門的な指導が受けられないから              | 13 |
| 人数が少なく、大会等に出場できないかもしれないこと    | 12 |
| 学業との両立が難しくなるかもしれないから         | 5  |
| もともと部活動に参加するつもりがない           | 4  |
| その他                          | 6  |

Q 7（部活動に対する心配や不安）の回答とほぼ同様の理由となっています。

## Q10. 部活動の地域連携・地域移行に対する考え（複数回答）

|                                                                      |     |
|----------------------------------------------------------------------|-----|
| 現行の部活動を減らしたり、活動を縮小したりして、地域（江津市）でスポーツクラブ（教室）や文化団体（教室）を設立し、併用できるようにする。 | 110 |
| 現行の部活動を残し、他の学校の同じ部活動と合同で練習する機会を持つ<br><u>（合同練習）</u>                   | 109 |
| 現行の部活動を残し、他の学校の同じ部活動と合同でチームを作り、合同チームとして大会にも出場する<br><u>（合同部活動）</u>    | 103 |
| ある競技・種目において部活動を行う学校を市内で指定し、指定された学校（拠点校）で一緒に部活動を行う。<br><u>（拠点校方式）</u> | 97  |
| 現行の部活動を廃止して、地域（江津市）でスポーツクラブ（教室）や文化団体（教室）を設立する                        | 89  |
| 現行のままでよい                                                             | 80  |
| その他                                                                  | 16  |

「現行のままでよい」を含め、どの案もある程度数が選択されています。このことから保護者もどの案が最適か選択できない状況が伺えます。

**Q11. 江津市の部活動がQ10のような形態に移行が進んだ場合、子どもが校区外での活動を望んだらどう対処するか（複数回答）**

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 送迎面で援助があれば平日の活動も参加させる              | 278 |
| 経費の面で援助があれば参加させる                   | 112 |
| 送迎面や経費の面など保護者が負担してでも、平日の活動に参加させる   | 83  |
| 学校の部活動か校区で行われる地域のクラブ等での活動に参加するよう促す | 73  |
| 休日のみの活動であれば参加させる                   | 33  |
| 何もさせない                             | 9   |
| その他                                | 16  |

地域連携・地域移行が進んだ場合、保護者にとっては送迎面や金銭面に不安を感じている状況が分かります。

**Q12. 江津市の部活動がQ10のような形態に移行が進んだ場合、どのような活動を望むか（3つまで）**

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| いろいろなレベル・視点での指導が受けられる活動            | 234 |
| 専門的な技術指導が受けられる活動                   | 213 |
| 人数不足の解消等適切な人数での活動                  | 127 |
| 初めてでも気軽に参加でき、楽しむことを目的としたレクリエーション活動 | 124 |
| 整った設備や場所での活動                       | 115 |
| 大会やコンクールで良い成績が収められる活動              | 57  |
| 幅広い年代の人と一緒にできる活動                   | 41  |
| その他                                | 2   |

専門的な的確な指導を望む意見が多い一方で、楽しめる活動も望まれています。

**Q13. 江津市の部活動がQ10のような形態に移行が進んだ場合、どのような心配や不安があるか（3つまで）**

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 平日の移動手段や送迎の負担                 | 331 |
| 休日の移動手段や送迎の負担                 | 145 |
| 活動時間が長くなったり、帰りが遅くなったりすること     | 126 |
| 学業との両立                        | 116 |
| 経済的な負担                        | 94  |
| 指導者の質や指導方法                    | 73  |
| 他校生徒との人間関係                    | 38  |
| 活動時間が短くなり、十分な練習が行えなくなること      | 33  |
| 人数が確保できずに、大会やコンクールに出場できなくなること | 32  |

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 事故やトラブルへの対応や補償                    | 31 |
| 人数が多くなりすぎて、子どもが試合等に出場する機会が少なくなること | 13 |
| 活動日が増えること                         | 9  |
| その他                               | 5  |

移動手段や移動時間（練習時間や帰宅時間）への不安が多くなっています。

### Q11. 自由記述（主なもの）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○地域連携・地域移行に対して <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では仕方がない</li> <li>・良い取り組みなので早く実現させてほしい</li> <li>・地域に振られても困る</li> <li>・移行した場合の心配（活動時間、学業との両立、指導者の資質等）</li> <li>・移動は送迎が必須</li> <li>・指導者の確保ができるのか、また指導者にそれなりの報酬を確保すべき（保護者が負担をしてもいい、負担が大きい、市の支援が必要）</li> <li>・スポーツ系、吹奏楽以外は現状のままでよい</li> </ul>                                                                                            | 22 |
| ○部活動の現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・種目、人数に限りがあり小学生でしていた種目がないことが多い</li> <li>・部活の割合が高く学業に支障がある</li> <li>・先生は大変だが学業だけではなく部活動にも力を入れてほしい</li> <li>・部活動を積極的に頑張っている先生は尊重したい</li> <li>・専門の指導者を配置してほしい</li> <li>・種目を増やしてほしい（ハンドボール(江中)、サッカー(青陵)、バスケット、男子バレー)</li> <li>・吹奏楽は合同練習や一緒にコンクールに出場できるように</li> <li>・文化部は ICT により学校間の連携や共同活動を</li> <li>・教員の働き方改革のために部活動が縮小されていると感じる</li> </ul> | 16 |
| ○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が行きたい中学校を選べるようにすることもありでは</li> <li>・子どもの望む進路、部活動を親として叶えたい</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                           | 14 |

地域移行に対する取り組みに肯定的な意見が多い反面、実際に実現した場合の心配が多く寄せられています。送迎や金銭的負担もあり、実現するには市の支援が必要となります。

## ③中学生調査（１年生・２年生）

## Q 1. 所属する学校

|       |     |
|-------|-----|
| 江津中学校 | 125 |
| 江東中学校 | 16  |
| 青陵中学校 | 108 |
| 桜江中学校 | 32  |
| 計     | 281 |

## Q 2. 学年

|     |     |
|-----|-----|
| １年生 | 150 |
| ２年生 | 131 |
| 計   | 281 |

## Q 3. 性別

|      |     |
|------|-----|
| 男    | 124 |
| 女    | 148 |
| 選ばない | 9   |
| 計    | 281 |

## Q 4. 日常的に継続して取り組んでいるスポーツや文化芸術活動

|                                        |     |
|----------------------------------------|-----|
| 学校の部活動のみで行っている                         | 155 |
| 学校の部活動と学校の部活動以外の教室やクラブ等の両方で、同じ活動を行っている | 46  |
| 学校の部活動以外の教室やクラブ等で行っている。                | 45  |
| 学校の部活動と学校の部活動以外の教室やクラブ等で、異なる活動を行っている。  | 23  |
| 何もしていない                                | 12  |

## Q 5. 現在所属している部活動の競技・種目（複数回答可）

|                    |    |
|--------------------|----|
| バレーボール・陸上競技        | 40 |
| ソフトテニス             | 36 |
| 吹奏楽                | 29 |
| 卓球                 | 18 |
| 美術                 | 15 |
| バスケットボール・サッカー・軟式野球 | 11 |
| 水泳                 | 6  |
| 柔道                 | 4  |
| 剣道                 | 3  |
| その他                | 7  |

## Q 6. 現在所属している部活動に入部した理由（３つまで）

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 小学生の時からやっている競技・種目だったから         | 87 |
| 中学生になったらやってみたいと思っていた競技・種目だったから | 78 |
| 体力や技術・技能を高めたいから                | 69 |
| 友だちと一緒にできるから                   | 62 |
| なんとなく                          | 35 |
| 周囲の人（家族や先輩、友人）に勧められたから         | 33 |
| 大会やコンクールなどでよい成績を収めたいから         | 32 |
| 人数が少なく、活動しやすいから                | 10 |
| やりたい競技・種目の部活動が入学した学校になかったから    | 9  |
| 人数が多く、活動しやすいから                 | 4  |
| 専門の指導者がいるから                    | 3  |
| その他                            | 9  |

小学生からやっている、中学生になったらやってみたい、技術・技能を高めたいという積極的な回答が多い反面、友人関係やなんとなく、勧められたなどの消極的な回答もありました。

## Q 7. 部活動をやっていて良かったと感じること（３つまで）

|                     |    |
|---------------------|----|
| 体力向上や健康増進           | 96 |
| 技術力の向上              | 86 |
| 中学校での思い出がつかれること     | 66 |
| 部活動を通じて友達・仲間が増えること  | 63 |
| 努力することの大切さを学ぶこと     | 58 |
| 達成感の獲得              | 52 |
| 大会・コンクールでよい成績を収めること | 37 |
| 忍耐力が身につくこと          | 26 |
| 礼儀作法が身につくこと         | 22 |
| 責任感・連帯感を養うこと        | 20 |
| 顧問の先生との出会い          | 14 |
| 特になし                | 9  |
| その他                 | 2  |

## Q 8. 学校の部活動をやっている心配や負担に感じること（３つまで）

|                    |    |
|--------------------|----|
| 特になし               | 91 |
| 学習との両立             | 48 |
| 部員が少ないこと           | 47 |
| 部活動内（生徒同士）での人間関係   | 27 |
| 活動日数が少ないことや時間が短いこと | 23 |
| 顧問の先生との関係          | 14 |
| 活動日数が多いことや時間が長いこと  | 13 |
| 専門的な指導が受けられないこと    | 12 |
| 下校時の安全             | 11 |
| 経費（お金のこと）がかかること    | 9  |
| 休日の大会や活動場所への移動手段   | 8  |
| 事故やトラブルの対応や補償      | 8  |
| 部員が多いこと            | 3  |
| その他                | 5  |

心配や負担は特にはない生徒が多い反面、学習との両立や人間関係などで少なからず不安のある生徒もいるようです。

## Q 9. 現在教室やクラブ等で行っている競技・種目（複数回答可）

|               |    |
|---------------|----|
| バスケットボール      | 68 |
| バレーボール・バドミントン | 12 |
| ソフトテニス・ハンドボール | 10 |
| サッカー          | 8  |
| 卓球            | 6  |
| 軟式野球・水泳・硬式野球  | 5  |
| 陸上競技          | 4  |
| 剣道・書道         | 3  |
| 硬式テニス・合唱      | 1  |
| その他           | 24 |

小学生で多かった水泳や、ピアノ・書道などの文化活動が大きく減っています。スポーツ系は継続しているようです。

## Q10. 現在活動している教室やクラブ等に参加した理由（３つまで）

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 小学生の時からやっている競技・種目だったから      | 68 |
| 体力や技術・技能を高めたいから             | 33 |
| 中学生になったらやりたい競技・種目だったから      | 26 |
| 友達と一緒にできるから                 | 26 |
| 周囲の人（家族や先輩、友人）に勧められたから      | 16 |
| 大会・コンクールでよい成績を収めたいから        | 13 |
| 専門の指導者がいるから                 | 10 |
| 学校では活動する日や時間が少ないから          | 10 |
| やりたい競技・種目の部活動が入学した学校になかったから | 9  |

|               |    |
|---------------|----|
| 人数が多く活動しやすいから | 3  |
| その他           | 11 |

## Q11. 現在所属している教室やクラブ活動で良かったと感じること（３つまで）

|                     |    |
|---------------------|----|
| 技術力の向上              | 69 |
| 体力向上や健康増進           | 57 |
| 努力することの大切さを学ぶこと     | 27 |
| 達成感の獲得              | 25 |
| 中学時代の思い出がつかれること     | 18 |
| 忍耐力が身につくこと          | 17 |
| 大会・コンクールでよい成績を収めること | 14 |
| 活動を通じて友達・仲間が増えること   | 14 |
| 礼儀作法が身につくこと         | 12 |
| 指導者との出会い            | 11 |
| 特になし                | 6  |
| 責任感・連帯感を養うこと        | 2  |
| その他                 | 2  |

部活動の参加者と違い、「技術力の向上」が「体力向上や健康増進」を上回っており、専門的な指導により技術が向上していることが伺えます。その他の項目では部活動参加者と大きな違いはありません。

## Q12. 現在所属している教室やクラブ活動での心配や負担に感じること（３つまで）

|                    |    |
|--------------------|----|
| 特になし               | 62 |
| 学習との両立             | 17 |
| 人数が少ないこと           | 11 |
| クラブ・教室内での人間関係      | 10 |
| 活動日数が多いことや時間が長いこと  | 8  |
| 監督やコーチの指導方針        | 6  |
| 休日の大会や活動場所への移動手段   | 6  |
| 帰宅時の安全や時間が遅くなること   | 6  |
| 経費（お金のこと）がかかること    | 5  |
| 専門的な指導が受けられないこと    | 3  |
| 活動日数が少ないことや時間が短いこと | 3  |
| 人数が多いこと            | 1  |
| 事故やトラブルの対応や補償      | 1  |
| その他                | 1  |

回答の上位は部活動の参加者とほぼ同じであり、中学校部活動と同様な問題点を抱えていることが伺えます。

Q13. 今後、あなたの取り組みたい競技や種目の活動を行うクラブや教室ができたり、  
合同で行う部活動となった場合どうするか（３つまで）

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 参加しない（現在活動していることを続ける）              | 101 |
| 移動（車で 15～30 分程度）があっても、平日・休日とも参加したい | 70  |
| 移動がなければ（自分の校区内での活動）休日のみ参加したい       | 46  |
| 移動（車で 15～30 分程度）があっても、休日のみ参加したい    | 43  |
| 活動時間が長くならなければ、平日・休日とも参加したい         | 30  |
| 活動日が増えても（休養日が減っても）参加したい            | 32  |
| 活動時間が長くならなければ、休日のみ参加したい            | 26  |
| 活動時間が長くならなければ、平日・休日とも参加したい         | 24  |
| 移動がなければ（自分の校区内での活動）休日のみ参加したい       | 20  |
| 活動時間が短くならなければ、休日のみ参加したい            | 8   |

参加しないが最も多くなっています。この傾向は大規模校ほど高くなっています（青陵中 44%、江津中 33%、桜江中 25%、江東中 18%）。また、小規模校では移動があっても参加したい割合が高くなっています。

Q14. 自由記述

|                                                                                          |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○部活動の現状について<br>・活動時間を多くしてほしい<br>・部活動の種類を増やしてほしい<br>・顧問についての不満<br>・大会を増やしてほしい<br>・今のままでよい | 19 |
| ○その他<br>・安全対策（夏場の部活動の短縮）<br>・人間関係が難しい<br>・がんばりたい                                         | 18 |

活動時間の延長を望む声や顧問に対する不満など現状の部活動に対する意見が多く、地域連携・地域移行についての意見はありませんでした。

## ④中学生保護者調査（１年生・２年生）

## Q 1. 子どもが所属する学校

|       |     |
|-------|-----|
| 江津中学校 | 126 |
| 江東中学校 | 20  |
| 青陵中学校 | 104 |
| 桜江中学校 | 35  |
| 計     | 285 |

## Q 2. 子どもの学年

|     |     |
|-----|-----|
| １年生 | 144 |
| ２年生 | 141 |
| 計   | 285 |

## Q 3. 子どもの性別

|      |     |
|------|-----|
| 男    | 120 |
| 女    | 154 |
| 選ばない | 11  |
| 計    | 285 |

## Q 4. 子どもが日常的に継続して取り組んでいるスポーツや文化芸術活動

|                                        |     |
|----------------------------------------|-----|
| 学校の部活動のみで行っている                         | 165 |
| 学校の部活動以外の教室やクラブ等で行っている                 | 38  |
| 学校の部活動と学校の部活動以外の教室やクラブ等の両方で、同じ活動を行っている | 33  |
| 学校の部活動と学校の部活動以外の教室やクラブ等で、異なる活動を行っている。  | 33  |
| 何もしていない                                | 16  |

## Q 5. 現在所属している部活動の競技・種目（複数回答可）

|            |    |
|------------|----|
| バレーボール     | 44 |
| 陸上競技       | 41 |
| 吹奏楽・ソフトテニス | 36 |
| 卓球         | 17 |
| 軟式野球       | 15 |
| サッカー       | 13 |
| 美術         | 12 |
| バスケットボール   | 9  |
| 柔道         | 6  |
| 水泳         | 4  |
| 剣道         | 2  |
| その他        | 3  |

## Q 6. 部活動をやっている良かったと感じること（３つまで）

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 部活動を通じて友達・仲間が増えること  | 131 |
| 体力向上や健康増進           | 120 |
| 努力することの大切さを学ぶこと     | 93  |
| 中学校での思い出がつかれること     | 57  |
| 達成感の獲得              | 52  |
| 責任感・連帯感を養うこと        | 49  |
| 技術力の向上              | 40  |
| 忍耐力が身につくこと          | 34  |
| 礼儀作法が身につくこと         | 28  |
| 大会・コンクールでよい成績を収めること | 13  |
| 特になし                | 5   |
| その他                 | 3   |

生徒の意見とは異なり、部活動を通しての友達づくりや精神的な成長や影響を重視している傾向にあります。

## Q 7. 学校の部活動をやっている心配や負担に感じる事（３つまで）

|                    |    |
|--------------------|----|
| 部員が少ないこと           | 93 |
| 休日の大会や活動場所への移動手段   | 77 |
| 活動日数が少ないことや時間が短いこと | 53 |
| 専門的な指導が受けられないこと    | 39 |
| 顧問の先生の指導方針や指導方法    | 39 |
| 学業との両立             | 38 |
| 特になし               | 35 |
| 部活動内（生徒同士）での人間関係   | 32 |
| 下校時の安全             | 31 |
| 経済的（金銭的）負担         | 14 |
| 事故やトラブルの対応や補償      | 5  |
| 活動に日数が多いことや時間が長いこと | 4  |
| 部員が多いこと            | 2  |
| その他                | 10 |

部員が少ないことに危機感を持つ保護者が多いようです。また、大会等の送迎に負担を感じられています。

## Q 8. 現在教室やクラブ等で行っている競技・種目（複数回答可）

|                   |    |
|-------------------|----|
| バスケットボール          | 16 |
| 書道                | 13 |
| ソフトテニス            | 11 |
| バレーボール・バドミントン     | 10 |
| サッカー              | 6  |
| 卓球・水泳・ハンドボール      | 5  |
| 軟式野球・陸上競技・柔道・硬式野球 | 3  |
| 剣道・合唱             | 2  |
| その他               | 26 |

## Q 9. 現在活動している教室やクラブ等に参加した理由（３つまで）

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 子どもがやりたいと希望したから             | 97 |
| 小学生の時からやっている競技・種目だったから      | 55 |
| 子どもの体力面や精神面の成長が望めるから        | 20 |
| 入学する学校の部活動にない競技・種目だったから     | 19 |
| 学校では活動する日や時間が少ないから          | 17 |
| 様々な体験をさせたいから                | 13 |
| より高いレベルで練習できるから             | 12 |
| 学校の部活動より専門的な指導を受けられるから      | 11 |
| 他校の生徒と交流できるから               | 8  |
| 大会やコンクールなどでよい成績を収めたいから      | 7  |
| 学校の部活動では、人数が少なく満足な活動ができないから | 7  |
| その他                         | 6  |

## Q10. 現在所属している教室やクラブ活動での心配や負担に感じること（３つまで）

|                    |    |
|--------------------|----|
| 特になし               | 42 |
| 学習との両立             | 21 |
| 休日の大会や活動場所への移動手段   | 21 |
| 経済的（金銭的）負担クラブ・     | 21 |
| 帰宅時の安全や時間が遅くなること   | 18 |
| 人数が少ないこと           | 10 |
| 教室・クラブ内での人間関係      | 6  |
| 活動日数が多いことや時間が長いこと  | 4  |
| 活動日数が少ないことや時間が短いこと | 2  |
| 専門的な指導が受けられないこと    | 2  |
| その他                | 13 |

## Q11. 部活動の地域連携・地域移行に対する考え（複数回答）

|                                                                    |    |
|--------------------------------------------------------------------|----|
| 現行の部活動にない競技・種目については、地域（江津市）でスポーツクラブ（教室）や文化団体（教室）を設立し、活動できるようにする    | 99 |
| 現行の部活動を残し、他の学校の同じ部活動と合同で練習する機会を持つ（ <u>合同練習</u> ）                   | 76 |
| 現行の部活動を残し、他の学校の同じ部活動と合同でチームを作り、合同チームとして大会にも出場する（ <u>合同部活動</u> ）    | 70 |
| 現行のままでよい                                                           | 70 |
| ある競技・種目において部活動を行う学校を市内で指定し、指定された学校（拠点校）で一緒に部活動を行う。（ <u>拠点校方式</u> ） | 50 |
| 現行の部活動を廃止して、地域（江津市）でスポーツクラブ（教室）や文化団体（教室）を設立し、クラブや教室での活動に移行する       | 45 |
| 現行の部活動の実施日や実施時間を縮小し、地域（江津市）でスポーツクラブ（教室）や文化団体（教室）を設立し、併用できるようにする    | 21 |
| その他                                                                | 16 |

「現行のままでよい（江中 29%、青陵中 27%、江東中 20%、桜江中 9%）」を含め、どの案もある程度の数が選択されています。現在ない種目についても、地域で行われることを望まれています。

## Q12. 江津市の部活動がQ11のような形態に移行が進んだ場合、子どもが校区外での動を望んだらどう対処するか（複数回答）

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 送迎面での援助があれば平日の活動も参加させる             | 195 |
| 経費の面で援助があれば参加させる                   | 69  |
| 送迎面や経費の面など保護者が負担してでも、平日の活動に参加させる   | 51  |
| 学校の部活動か校区で行われる地域のクラブ等での活動に参加するよう促す | 34  |
| 休日のみの活動であれば参加させる                   | 26  |
| 何もさせない                             | 8   |
| その他                                | 9   |

小学生の保護者と同様に、地域連携・地域移行が進んだ場合、保護者にとっては送迎面や金銭面に不安を感じている状況が分かります。

**Q13. 江津市の部活動がQ11のような形態に移行が進んだ場合、どのような活動を望むか（３つまで）**

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 専門的な技術指導が受けられる活動                   | 150 |
| いろいろなレベル・視点での指導が受けられる活動            | 143 |
| 人数不足の解消等適切な人数での活動                  | 105 |
| 整った設備や場所での活動                       | 71  |
| 初めてでも気軽に参加でき、楽しむことを目的としたレクリエーション活動 | 68  |
| 大会やコンクールで良い成績が収められる活動              | 48  |
| 幅広い年代の人と一緒にできる活動                   | 38  |
| その他                                | 2   |

小学生保護者とほぼ同様の回答です。専門的な的確な指導を望む意見が多い一方で、楽しめる活動も望まれています。

**Q14. 江津市の部活動がQ10のような形態に移行が進んだ場合、どのような心配や不安があるか（３つまで）**

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 平日の移動手段や送迎の負担                     | 209 |
| 休日の移動手段や送迎の負担                     | 84  |
| 指導者の質や指導方法                        | 66  |
| 経済的な負担                            | 64  |
| 活動時間が長くなったり、帰りが遅くなったりすること         | 59  |
| 学業との両立                            | 55  |
| 活動時間が短くなり、十分な練習が行えなくなること          | 30  |
| 事故やトラブルへの対応や補償                    | 27  |
| 他校生徒との人間関係                        | 25  |
| 人数が確保できずに、大会やコンクールに出場できなくなること     | 21  |
| 人数が多くなりすぎて、子どもが試合等に出場する機会が少なくなること | 10  |
| 活動日が増えること                         | 8   |
| その他                               | 3   |

小学生保護者と同様に移動手段や移動時間（練習時間や帰宅時間）への不安が多くなっています。また、指導者の質や指導方法についての心配が多くなっています。

## Q11. 自由記述（主なもの）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○地域連携・地域移行に対して <ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性は賛成、もっと早くやるべき</li> <li>・教員の負担軽減になるなら賛成</li> <li>・反対、今までどおり教員に指導してほしい</li> <li>・移行した場合の心配（保護者負担、指導者の資質等）</li> <li>・移動は送迎が必須</li> <li>・指導者にそれなりの報酬を確保すべき</li> </ul>                                                                                   | 38 |
| ○部活動の現状について（地域クラブ含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革のために部活動が縮小されている</li> <li>・部活に頼りすぎず、顧問のせいにはせず、自分たちで考え行動する必要がある</li> <li>・部活動は家庭ともクラスとも違う「居場所」になっている</li> <li>・クラブの監督やコーチから差別的な扱いや時に暴力を振るわれている生徒もいる。指導者の質は誰が管理するのか、子どもの SOS は誰が助けてくれるのか。</li> <li>・クラブに参加しているが時間帯が遅く学業との両立が難しい</li> </ul> | 9  |
| ○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動を理由とする指定校変更には疑問がある</li> <li>・部活に打ち込む子、そうでない子もお互いに尊重されるように</li> </ul>                                                                                                                                                                                          | 3  |

地域連携・地域移行に対しては、肯定的評価が多いものの、少数ですが反対意見もあります。実施に当たっては、送迎体制や適格な指導者の確保、報酬等の労働条件の整備、保護者負担の軽減など課題も多く、保護者の理解も得ながら慎重に検討する必要があります。

## ⑤教職員調査

## Q 1. 所属する学校

|       |    |
|-------|----|
| 江津中学校 | 18 |
| 江東中学校 | 11 |
| 青陵中学校 | 16 |
| 桜江中学校 | 11 |
| 計     | 56 |

## Q 2. 年代

|      |    |
|------|----|
| 20 代 | 13 |
| 30 代 | 9  |
| 40 代 | 13 |
| 50 代 | 18 |
| 60 代 | 3  |

## Q 3. 性別

|      |    |
|------|----|
| 男    | 25 |
| 女    | 27 |
| 選ばない | 4  |

## Q 4. 担当している部活

|         |    |
|---------|----|
| 運動系部活動  | 37 |
| 文化系部活動  | 9  |
| 担当していない | 10 |

## Q 5. 部活動の担当について

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 監督、コーチ、指導者として主たる技術指導を担当    | 22 |
| 技術指導は他者に任せ、主に生徒指導や引率、事務を担当 | 22 |
| 技術指導から事務処理など全てを担当          | 1  |
| 社会体育等の参加者の大会申込み事務や引率を担当    | 1  |

## Q 6. 自身の競技や指導の経験

|                                               |    |
|-----------------------------------------------|----|
| 自らこれまでに競技者、演奏者等として専門的な技能を身につける経験がある           | 19 |
| 競技者、演奏者等として専門的な技能を身につける経験はないが、部活指導者として指導経験がある | 12 |
| 現任校まで競技経験、指導経験はなかった                           | 15 |

## Q 7. 現在の部活動の担当について

|                  |    |
|------------------|----|
| 希望をした部を担当している    | 26 |
| 希望をしていない部を担当している | 20 |

## Q 8. 担当する部活動の業務について

|                            |    |
|----------------------------|----|
| やりがいを感じて担当している             | 13 |
| 学校運営上必要と考え担当している           | 14 |
| 負担に感じている                   | 16 |
| その他（上記いずれも、部員・保護者の理解でなんとか） | 3  |

## Q 9. 部活動の指導を通して、やりがいと感じている点（3つまで）

|                    |    |
|--------------------|----|
| 競技力（技術）や精神力など生徒の成長 | 28 |
| 責任感や協調性など生徒の社会性の成長 | 24 |
| 生徒との人間関係の醸成        | 23 |
| 生徒の自己実現（上位入賞等）の支援  | 12 |
| 特になし（やりがいを感じない）    | 10 |
| 自身の指導力の向上          | 4  |
| 学校運営上の部活動の継続       | 4  |
| 各種大会での入賞等の成績       | 2  |
| 保護者の満足度の向上         | 1  |

生徒の成長にやりがいを感じる教員が多いようです。

## Q10. 部活動の担当者として特に悩んでいる点（3つまで）

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 自身のワークライフバランス              | 28 |
| 自身の指導力不足                   | 15 |
| 校務が忙しく部活動指導ができにくい          | 11 |
| 部員同士の人間関係や多様な生徒（部員）への対応    | 11 |
| 保護者への対応                    | 10 |
| 自身の心労・疲労                   | 10 |
| 部活動が忙しく授業準備等が十分にできない       | 8  |
| 部員が少ない                     | 7  |
| 特になし                       | 3  |
| 管理職や行内の教職員の理解不足            | 1  |
| その他（地域移行への不安、生徒の意欲を引き出せない） | 2  |

自身のワークライフバランスや心労・疲労などの心配の一方で、特に指導経験のない教員の全員が自身の指導力不足に悩んでいる状況です。また、校務、部活動のどちらかに比重が置かれバランスが取れていない状況がうかがえます。

## Q11. 部活動の担当者として負担に感じる点（3つまで）

|                      |    |
|----------------------|----|
| 休日の部活動指導や大会等の引率をすること | 28 |
| 帰宅時間が遅くなること          | 25 |
| 専門でない部活動を指導すること      | 14 |
| 授業準備等の時間がなくなること      | 13 |
| 負担は感じていない            | 8  |
| 他の顧問や生徒、保護者との人間関係    | 6  |
| 特になし                 | 4  |

|                     |   |
|---------------------|---|
| 部費などの会計のこと          | 1 |
| その他（子育てに費やす時間が減ること） | 1 |

休日出勤や帰宅時間が遅くなるのが大きな負担となっています。負担を感じていない教員も8人（運動部7、文化部1）いますが、全て指導経験のある教員です。

#### Q12. 現在の部活動の問題点（3つまで）

|                                                                                                                                                                                |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 学校の規模と部活動数のアンバランス                                                                                                                                                              | 21 |
| 生徒数減少等による部員不足                                                                                                                                                                  | 19 |
| 専門的技術指導できる教員不足                                                                                                                                                                 | 19 |
| 保護者の期待過多                                                                                                                                                                       | 16 |
| 希望以外の担当顧問の増加                                                                                                                                                                   | 15 |
| ガイドラインが守られていない（活動時間など）                                                                                                                                                         | 6  |
| 保護者の理解不足                                                                                                                                                                       | 6  |
| 施設・設備などの環境不備                                                                                                                                                                   | 4  |
| 費用負担の増大                                                                                                                                                                        | 4  |
| 生徒の事故、ケガ、健康状態の不安                                                                                                                                                               | 4  |
| 入部率の低下                                                                                                                                                                         | 4  |
| 特になし                                                                                                                                                                           | 3  |
| その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正当な報酬、対価が必要</li> <li>・ ほぼボランティアだが責任が大きい</li> <li>・ 一部の教員のみが担っている</li> <li>・ 部活動への制限がかかりすぎ</li> <li>・ 生徒の態度や保護者のクレーム など</li> </ul> | 7  |

生徒数減少による部員不足にもかかわらず、部活動数が過大となっており、教員に負担となっています。部活動を減らすためには生徒や保護者の理解を得なければならず大変な作業ですが、思い切った決断が必要な時期にきていると思われます。

## Q13. 教職員の働き方改革を進めるうえで、部活動の在り方を変える必要があるか

|         |    |
|---------|----|
| とてもそう思う | 41 |
| ややそう思う  | 12 |
| あまり思わない | 2  |
| 思わない    | 1  |

## Q14. Q13 と考える理由

|                                                                                                                                                                                                 |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○賛成<br>・教職員本来の業務ではない。<br>・ほぼ強制的残業でありながら残業代が出ない。特勤も少ない<br>・休日出勤ありきで成り立っている。全員ができるシステムではない<br>・本来業務への圧迫が強く精神的に苦しい。<br>・教職員の休める時間が少なく授業の質やパフォーマンスが下がる<br>・専門外指導は難しくストレスや苦痛を感じる<br>・ワークライフバランスが取れない | 29 |
| ○その他<br>・保護者の理解が深まり配慮もあり、自分のペースで部活動を行うことができる<br>・変える必要はあるが、部活動以外の面を変えることが先決<br>・地域移行したとしても教員の負担が他の人に移るだけで根本的な解決にならない                                                                            | 3  |

現在の部活動に対する肯定的な評価はほぼなく、様々な不満と地域移行を含む改革が必要との意見が寄せられています。部活動をもっとしたいという生徒の思いと、負担を軽減したい教員の思いが相反する形となっています。これを解決するためには、生徒と教員のニーズに沿った地域移行を進めることが必要と思われます。

## Q15. 部活動の地域と連携しながらの段階的な移行について

|            |    |
|------------|----|
| 賛成         | 30 |
| どちらかといえば賛成 | 18 |
| どちらかといえば反対 | 3  |
| 反対         | 1  |
| 分からない      | 4  |

## Q16. 部活動が地域移行される場合の不安

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 指導者確保ができるのか                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 38 |
| 円滑に運営できるのか                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 25 |
| 生徒指導上の問題への対処                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 24 |
| 市や地域の協力や支援が得られるのか                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 14 |
| 送迎に関しての体制整備は確保できるのか                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 8  |
| 費用負担が増えるのではないかと                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 7  |
| 勝利至上主義の活動になるのではないかと                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 4  |
| 兼職兼業が認められ教職員として地域クラブの指導者を務めることができるか                                                                                                                                                                                                                                                                     | 4  |
| 保険等の保障等の整備は大丈夫か                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 3  |
| 保護者の理解・協力が得られるのか                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 2  |
| 部活動の顧問としての立場（活動の機会）がなくなるかもしれないこと                                                                                                                                                                                                                                                                        | 2  |
| 特になし                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2  |
| その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結局学校が関わらないといけなくなり、負担が増えそう</li> <li>・ 誰もやりたがらなかった場合、結局教員がしなければならない状態になると思われる</li> <li>・ 学校の負担が他に移るだけではないか</li> <li>・ 未経験の生徒が中学入学を機に新しいことに挑戦しづらくなるのでは</li> <li>・ 平日と休日で指導者が違う体制で連携が取れるのか</li> <li>・ 移行するにあたっての教員の負担が増えること</li> <li>・ 本当に負担が軽減されるか</li> </ul> | 7  |

## Q17. 部活動が地域移行される場合の解決すべき課題（3つまで）

|                                                                                 |    |
|---------------------------------------------------------------------------------|----|
| 人材の確保（指導者・活動を運営する人など）                                                           | 38 |
| 受け皿となる団体の整備                                                                     | 35 |
| トラブルが起こった場合の責任の所在                                                               | 21 |
| 生徒・保護者の理解                                                                       | 15 |
| 移動（送迎）に関する体制整備の確保                                                               | 13 |
| 活動場所の確保                                                                         | 8  |
| 大会の在り方                                                                          | 8  |
| 教職員の理解                                                                          | 6  |
| 活動費や保険                                                                          | 6  |
| 学習指導要領での部活動の位置づけ                                                                | 2  |
| 特になし                                                                            | 2  |
| その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動を担当したい教員の理解が得られるか ほか</li> </ul> | 2  |

## Q18. 今後、自身は部活動にどのように関わりたいと思うか（3つまで）

|                                                                                                                                                                                        |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 部活動の担当も、地域クラブの担当もしたくない                                                                                                                                                                 | 36 |
| 監督、コーチ、指導者等、部活動を主たる立場で担当したい                                                                                                                                                            | 9  |
| 引率、事務等を行うなど、部活動のサポート役として担当したい                                                                                                                                                          | 7  |
| 部活動は担当せず、地域クラブの指導者として活動したい                                                                                                                                                             | 7  |
| 部活動を担当しながら、地域クラブの指導者としても活動したい                                                                                                                                                          | 2  |
| その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職として必要に応じて教員をサポートしたい</li> <li>・声がかかるのであれば、指導者として参加したい</li> <li>・現在も地元でしているが、自分にできることは今後もしたい。</li> <li>・希望する部活動ならば、指導者として担当したい</li> </ul> | 5  |

## Q19. 部活動が地域移行される場合の指導への関わり

|                                                                                                                    |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 兼職兼業を行うつもりはない                                                                                                      | 36 |
| 兼職兼業を行うかどうか、悩んでいる                                                                                                  | 9  |
| 兼職兼業の許可を得て、自身が指導に関わりたい                                                                                             | 8  |
| その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校をつなぐ役割として連絡調整を行いたい</li> <li>・ボランティア等で自分ができることがあれば継続したい</li> </ul> | 3  |

## Q20. 自由記述（主なもの）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○地域連携・地域移行に対して <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成、できるだけ早く</li> <li>・賛成だが心配も多い             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が確保できるのか（結局教員がやらざるをえない）</li> <li>・一部の種目に限られるのでは</li> <li>・実際にやるとなると様々な課題があり難しいのでは</li> <li>・活動時間や指導者の賃金がどうなるか</li> <li>・教育的配慮や生徒指導的な役割がなくなることが不安</li> </ul> </li> <li>・学校と部活動を完全に切り離してほしい</li> <li>・中途半端になるなら思い切って部活動を廃止すればよい</li> </ul> | 16 |
| ○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員も部活動の報酬を受け取れる体制が必要</li> <li>・モデル実施でなぜ柔道と陸上なのか</li> <li>・地域移行が急ピッチで進められている印象、動きの全体像と見通しが分かるとよい</li> <li>・地域移行後のブロック大会等の大会運営は教職員がするのか</li> </ul>                                                                                                                                                                                        | 5  |

生徒・保護者とも、部員が少なくなっていること、専門的な指導が受けられなくなりつつあること、教職員の負担軽減への理解など、部活動の地域連携・地域移行を含む部活動の改革については、その必要性は多くの方に認識されています。特に教職員はその思いが強くなっています。

一方で、地域移行を進めるに当たっては、移動手段や練習時間、帰宅時間、金銭的負担、適格な指導員の確保など、心配や不安が多く寄せられています。

地域連携・地域移行を進めるためには、これらの点を全て解決することが理想です。市としては移動手段の確保や金銭的な負担など可能な限り支援したいと考えておりますが、今後の協議によっては生徒・保護者にもご協力やご負担をお願いせざるを得ないことがあるかもしれません。いずれにしても、市と保護者、そして指導者が協議を重ね、江津市にあった一番良い方法を探る必要があると考えます。